

yz003001	伝統芸能 日の本踊り	概要 適用
 yz003002001) 海を見下ろす金峰神社で大祭に奉納される少女達の日の本踊り  yz003002002 金峰神社の境内  yz003002003 火の本踊り①  yz003002004 火の本踊り②  yz003002005 火の本踊り③  yz003002006 火の本踊り④  yz003002007 火の本踊り⑤		【概要】 ・旧暦 6/15 に行われる金峯神社大祭に奉納される。 ・歌詞は平家伝説に由来する。源平合戦の様子を歌った踊り。 ・口永良部島、屋久島は、源平合戦の後、平家の落人が住んだと言い伝えられていて多く落人伝説が残されている。 ・口永良部島では、逃げた平家が津城（別名日高城）を築いたとか、金ヶ迫の川に軍用金を埋めた、などといった平家の落人伝説が残っている。 ・日の本踊り自体は金峯神社の奉納のために踊られてきたわけではないが古くから踊られていた。 ・昭和 56 年に青年団により棒踊りを復活させた時に、このままだと日の本踊りもなくなってしまう、と踊りが伝承され、現在では、金峯神社大祭で奉納されている。 ・歌詞 - ここは須磨の浦 - 敦盛 その日のいでたちた - 日の丸の 扇をかざしたまえと - 八方うちの鬼兜 - ちりゆきの たつ頭 わぎなかぎじゃ 綾錦 - あゝ小桜おろしの 稚児よろい - たずなかいこみ 青葉の笛を 握り添え - 笛に まかせて ゆく道は 二人ゆく道あ 須磨の浦 - あゝ ちらちら招く 玉織姫かいな ソレ - ちらと 招くは 玉織か 敦盛も ひょうしんも



yz003003008

火の本踊り⑤

はるかに 沖をながむれば 敦盛もあきればて
たもうところに 武蔵の国の住人が 日の本の旗頭
くまがいの次郎なおざねが
ああ のがさんやらんと おっかえす
敦盛 こまをひっかえす
内外 みえしところに 御大将
十六歳の前髪は 首は前に ころころと
天下泰平 波風絶えて
国も 治まる めでたさよ

【写真】

yz003002001)海を見下ろす金峰神社で大祭に奉納される少女
たちの日の本踊り

yz003002002)日の本踊りは金峰神社境内で踊られる

yz003002003)子供達による日の本踊り③

yz003002004)日の本踊り①

yz003002005)日の本踊り②

yz003002006)日の本踊り③

yz003002007)日の本踊り④

yz003002008)日の本踊り⑤

【動画】 * 棒踊りと同じファイル

yz003002011)棒踊り・日の本踊り①（平成 28 年 7 月） →リ
ンク

yz003002012)棒踊り・日の本踊り②（平成 28 年 7 月） →リ

ンク